

「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動に係る第5期アクション・プラン最終案について

1 趣旨

広島県「減らそう犯罪」推進会議委員への意見照会、県議会における集中審議及び県民意見募集の実施等を経て、「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動に係る第5期アクション・プランの最終案をとりまとめたもの

年 月 日	概 要
令和元年 11月21日	広島県「減らそう犯罪」推進会議（策定方針の審議）
令和2年 5月25日	経営戦略会議（骨子案の協議・承認）
6月5日	広島県「減らそう犯罪」推進会議（素案に対する意見照会）
8月3日	経営戦略会議（素案の協議・承認）
9月19日	警察・商工労働委員会（集中審議）
10月1日	県民意見募集（～10/30）
11月24日	広島県「減らそう犯罪」推進会議（最終案の審議）

2 最終案の概要

(1) 計画の名称

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プラン

(2) 計画期間

令和3年から令和7年までの5年間

(3) 運動目標

「住む人 来る人 誰もが

日本一の安全安心を実感できる広島県の実現」

【運動目標に係る推進指標】

○ 「安全」の指標

刑法犯認知件数 12,000件以下（R元：14,160件）

○ 「安心」の指標

治安良好と感じる県民の割合 90%以上（H29：85.3%）

※ 3年に1度実施される県政世論調査において把握

3 県民意見募集の結果（実施期間：10/1～10/30）

(1) 意見の件数

ア 総意見数：11人 12件

イ 本プランに関する意見数：10人 11件

(2) 寄せられた意見と県の対応

別表のとおり

4 計画の周知及び実施

(1) 周知

ア 県警ホームページへの掲載

イ 市町、関係機関等へのパンフレット（冊子、概要版）の配付

ウ 防犯ボランティアを対象とした研修会や警察署への教養等の実施

(2) 実施

ア 広島県「減らそう犯罪」推進会議を中心とした、県民、事業者、ボランティア、関係団体等との協働・連携による各種取組の実施

イ 広島県「減らそう犯罪」推進会議における各指標に対する達成状況の検証とPDCAサイクルによる効果的な事業展開を実施

『減らそう犯罪』第5期ひろしまアクション・プラン（素案）に関する 意見募集の実施結果

1 意見募集の期間及び結果

募集期間	令和2年10月1日（木）～10月30日（金）
総意見数	11人 12件

※総意見数の内、プランに関する意見10人11件を掲載

2 意見と対応

(1) 第1章（策定に当たって）関係

○ 計画期間等について

意見の内容	対応
① 計画期間が5年間というのは長すぎると感じる。 全体で5年は良いが個別での見直し（達成）期間は1～2年でもよいのではないか。	「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動では、これまで3年又は5年を計画期間としたアクション・プラン(以下「プラン」という。)に基づき、各種取組を推進して成果を挙げてまいりました。 プランに基づく取組状況については、広島県「減らそう犯罪」推進会議等を通じて、プランの各指標に対する達成状況を検証し、PDCAサイクルによる効果的な事業展開を図るとともに、必要に応じて、計画期間中においても見直しや修正を行ってまいります。
② 和暦と西暦が併記された箇所と和暦のみが記載された箇所が混在しており、記載を統一した方がよいのではないか。	暦の表記については、基本的には和暦表記としていますが、近年のグローバル化、デジタル化の急速な進展に伴い、西暦表記が一般的に広く使用されている現状を踏まえ、表紙及び第一章については和暦と西暦を併記しております。

(2) 第2章（目標と基本的方向）関係

○ PDCAサイクル等について

意見の内容	対応
① 主要な取組を項目ごとにたくさん書いてあるが、KPIの設定は行わないのか。 KPIを設定しなければ、ただ主要な取組を記載しただけになりPDCAサイクルが回らないのではないか。	KPIについては、取組全体の進捗を検証する総括的な「推進指標」と主要な取組について重点施策の4項目を掲げ、それぞれの達成度を検証する「取組指標」を設定しております。 PDCAサイクルについては、四半期ごとの点検を行うとともに、毎年開催される広島県「減らそう犯罪」推進会議等において、取組状況を確認し、翌年の取組方針を決定し、施策を展開するこ

	とで県民の安全安心の向上に取り組むこととしております。
--	-----------------------------

(3) 第4章(施策の展開) 関係

ア 安全安心なまちづくり

意見の内容	対応
① 地域安全マップづくりの中に、災害マップもわかるようにすると、1つの地図で便利になる。	<p>地域安全マップづくりは、子供自らが犯罪の起こりやすい場所を調査し、それを地図にまとめることにより、地域の危険な場所を知るだけでなく、子供の危険予測能力・回避能力を身に付けることを目的としています。</p> <p>そのため、災害などをテーマに含めると子供の視点がそちらに向いてしまうことから、犯罪にテーマを絞った地域安全マップづくりを行うことにより、子供の犯罪被害防止能力の向上を図っています。</p>
<p>② 「防犯ボランティアへの参加促進」、「防犯ボランティア団体等の活動の活性化・定着化」に関して、実現化に向けた具体的な手法などの記載があるとよいと感じた。</p> <p>例えば、地域の大学生をボランティアに参画させるに当たっては、「地域の安全を推進するボランティアに参加した実績が就職活動時のネタになる。」等のインセンティブがあるとよいかなと感じる。</p>	<p>防犯ボランティアへの参加促進等、持続可能な自主防犯活動の推進は、安全安心なまちづくりを進めていく上で、重要な課題であると認識しております。</p> <p>本プランに記載している具体的な取組以外のものについては、運動の推進組織である「減らそう犯罪」推進会議の各構成主体が、それぞれの立場で実施できる取組を、企画・実施する予定としております。</p>
③ 以前、見られていた登下校時のPTA等のパトロールや防犯グッズがさらに良くなればと思う。	<p>PTAや防犯ボランティアによるパトロールや見守り活動は、犯罪の抑止に効果的な取組であり、地域住民の安心感を高めるという面からも大きな効果があります。</p> <p>持続可能な防犯活動の推進を図るため、引き続き、市町、関係団体等と連携し、防犯ボランティア団体等の組織及び活動の活性化を図るとともに、当該団体等に対して防犯グッズ等の支援を行ってまいります。</p>
④ 環境づくりの中の「犯罪の防止と安全の確保に配慮した道路等の整備」について、最近違法駐車をしている車を多く見かける。	<p>本プランでは、安全安心をもたらす警察活動の具体的な取組として、「交通指導取締りの強化」を掲げており、違法駐車取締りについては、県民からの取締り要望を踏まえ、悪質性・危険性・迷</p>

<p>走行する際に横を通る為、前方や車両の影からの飛び出し等に危険を感じます。</p> <p>道路等を整備するに当たって、違法駐車できない措置もプランに含んで欲しい。</p>	<p>感性の高いものに重点を置いて実施してまいります。</p> <p>また、引き続き交通安全教育等の場を活用し、交通ルールの遵守に向けた広報啓発を推進してまいります。</p>
---	---

イ 安全安心をもたらす警察活動

意見の内容	対応
<p>① アクション・プランで、刑法犯認知件数の縮減が推進指標とされると、本来、事件化されることが望ましい事案であっても警察署で具体的な対応がなされないケースを増やすことにならないか。</p> <p>(警察署において、被害届を受理すべきかどうか判断を迷う事案について、刑法犯認知件数の縮減のために被害届を提出させない取り扱いが増えるおそれはないか。)</p> <p>また、警察署に何回相談しても対応してもらえないと感じてしまうことは、体感治安を悪化させる原因となる一面があるのではないか。</p>	<p>本プランの運動目標を達成するためには「安全安心なまちづくり」と「安全安心をもたらす警察活動」が密接な両輪として機能することが重要です。</p> <p>「安全安心をもたらす警察活動」では、県民の期待と信頼に応える力強い警察の構築のため「警察活動の強化」を掲げており、犯罪の抑止活動のみならず、犯罪発生時には、迅速かつ的確な取締りや捜査、検挙活動を行い、犯罪に対する厳正な警察活動を推進してまいります。</p> <p>また、「警察安全相談への適切な対応」を主要な取組に掲げ、相談者等の置かれた状況を理解し、対応策や自衛策などが図れるよう助言や指導を行うとともに、必要に応じて事件化や相手方への指導・警告を行うなど相談者等の生命、身体、財産に対する安全の確保を図り、住民の安心感を高める警察活動を行ってまいります。</p>
<p>② 最近、横断歩道で止まるドライバーが増えてきたように感じる。</p> <p>その一方で未だにあおり運転等を見かけることがある。</p> <p>今後は悪質なドライバーへの指導取締りを強化して欲しい。</p>	<p>本プランでは、安全安心をもたらす警察活動の具体的な取組として、「交通指導取締りの強化」を掲げており、いわゆる「あおり運転」などの悪質・危険性の高い違反に重点を置いた指導取締りについて強化することとしております。</p>
<p>③ 性犯罪・ストーカー被害・未成年者の犯罪が増加している中、警察が介入出来るタイミングが遅すぎる。</p>	<p>性犯罪及び福祉犯の検挙・抑止活動やストーカー・DV等の人身安全関連事案への対応については、本プランの重点課題と捉えております。</p> <p>行為者に対する検挙、指導・警告などを迅速かつ的確に行うとともに、前兆とみられる声かけやつきまとい等に対しては、早期段階で行為者を特定し、先制・予防的に活動を展開することで、引き続き犯罪被害の未然防止を図ってまいります。</p>

④ AIをうまく活用して犯罪を取り締まることができればと思う。	県警察では、デジタル技術や人工知能等の先進技術を積極的に導入した基盤の整備を推進し、現場執行力の強化を図ります。
---------------------------------	--

※ 御意見のうち、内容について原文を一部要約して掲載しています。なお、具体的な内容を判断できなかったもの、県の業務対象外、パブリックコメント制度そのものに対する意見については、掲載していません。